

青少年国際交流事業事後活動推進大会
日本青年国際交流機構第30回全国大会
第21回青少年国際交流全国フォーラム
北海道大会 開催案内

1. 目的： 内閣府、地方公共団体等の行う青少年国際交流事業の既参加青年が集まり、地域における事後活動の推進状況を報告するとともに、全国的な事後活動を更に充実させるための方策について積極的に意見交換を行い、既参加青年相互の交流と研さんを図り、今後の国際交流活動及び地域社会における諸活動の推進に貢献するとともに、国際交流活動を一般の方にも紹介していくことを目的とする。
2. 主催： 内閣府
日本青年国際交流機構
一般財団法人青少年国際交流推進センター
北海道青年国際交流機構
3. 後援： 北海道
4. 主管： 日本青年国際交流機構第30回全国大会北海道大会実行委員会
5. 日時： 平成26年11月22日（土）～23日（日）
6. 会場： 定山溪万世閣 ホテルミリオーネ
〒061-2302 北海道札幌市南区定山溪温泉東3丁目 TEL：011-598-3500
7. テーマ：『共生のフロンティア北海道～次世代につなごう道産子スピリッツ～』

共生のフロンティア北海道
～次世代につなごう道産子スピリッツ～



グローバル化が進む現代では、国際的関係はもちろんのこと国内的にも様々な関係が多種多様になっています。これらに対応していくためには、個人としても、他を受け入れ、互いの良いところを取り入れ合っていく柔軟な精神が求められています。

本大会の開催地である北海道は、厳しい自然の中、異なる文化を持つ人々が共に助け合いながら発展させてきた開拓の歴史があり、ありのままの自然や他を受け入れる「共生の精神」が根付いているといえます。

日本青年国際交流機構は「社会でリーダーシップを発揮できる人材」の育成を活動方針に掲げていますが、次世代をリードする青年たちにとって「共生の精神」を身につけることは重要であると考え、焦点をあてることにしました。

具体的には、地方文化や北海道民性に詳しく、地域振興にも尽力されている千石涼太郎氏（作家・エッセイスト）を基調講演者として招き、北海道文化の成り立ちや在り方について講演いただくことで、共生の精神の根幹にある北海道人の気質を紹介します。また分科会では、北海道における人と自然、地域と海外、異なる文化間といった様々な共生の形を学ぶ場を提供します。グローバル時代における「共生の精神」について参加者が新たな気づきを得るとともに、その精神を次世代にどうつないでいくかを考えます。

8. 申込み方法・締切日： 平成26年10月20日（月）※振込日有効

今大会ではウェブサイトからのお申込みを推奨しています。日本青年国際交流機構ウェブサイトよりお申込みください。 <http://www.iyeo.or.jp/ja/>

※払込取扱票のすべての項目にご記入いただく申込方法も受付けます。

9. プログラム

第1日目・11月22日(土)

- 12:30 受付
13:30 開会式
14:00 基調講演「北海道文化の成り立ちと在り方」
講演者 千石涼太郎(せんごくりょうたろう)氏
15:15 記念撮影
15:30 分科会

18:15 ホテルチェックイン

18:45 懇親会

第2日目・11月23日(日)

- 9:00 日本青年国際交流機構 表彰式
9:30 各都道府県及び個人の事後活動紹介
11:00~11:15 閉会式
※閉会式後、希望者は地域理解研修に参加できます。(要事前申込)

10. 分科会

○文化体験

分科会(A~J)から、第3希望まで選択し、ウェブサイトからの申し込みフォームもしくは払込用紙にてお知らせください。(定員を大幅に超えた場合には、ご希望に添えないこともあります。 ※参加費は当日お支払いください。

A: 「見て・触れて・楽しむアイヌ文化」(参加費500円)

札幌市アイヌ文化交流センター(サッポロピリカコタン)

アイヌ語で「札幌の美しい村」という意味を持つ「サッポロピリカコタン」を訪問し、北の大地に先住し独特の文化を育ててきたアイヌ民族の生活や歴史、文化などを楽しみながら学び、理解を深めます。講師の先生をお招きしてアイヌ文様の「切り絵」体験も行います。

○地域活性化

B: 「ウインタースポーツの達人が立ち上がる」

井山敬介さん(北海道スノースポーツミーティング実行委員会)

雪が身近にあるにも関わらず数年前までは減り続けていた北海道のスキー人口も、ここ数年は増加に転じています。その中で、休止していたスキー授業を復活させる小中学校も増えてきていますが、それを後押ししているのが教育機関や行政と一緒に活動するプロスキーヤー達「北海道スノースポーツミーティング」です。プロスキーヤー達が子供達の授業にお邪魔する「雪育せんせい」や「スーパースキー学習」など、ウインタースポーツを通して北海道の冬の魅力を再発見してもらうためのユニークな活動についてお話いただきます。

C: 「グローバル時代の地域活性化~場所文化をいかした十勝での取組を例として~」

後藤健市さん(ノラワークスジャパン)

北海道十勝地方で温泉熱や雪、太陽などの再生可能な自然エネルギーを80%以上使った真冬に収穫できるマンゴーを生育しているのが「ノラワークスジャパン」です。この取組により地域をPRし、活性化していくための新産業の可能性が生まれています。この分科会を通してそれぞれの地域に目を向け、新たな魅力に気付けるような場とします。

D: 「滝川から世界へ 世界から滝川へ」

山内康裕さん(一般社団法人滝川国際交流協会)

滝川国際交流協会は市全体で推進している国際化の音頭を取り、外国人の技術研修生受入れやJICA事業への協力といった様々な活動を行っています。また教育現場にも積極的に国際交流の機会を提供し、国際的な視野を持つ人材育成を活動方針の一つとしています。それらの取組についてお話を聞き、次世代のグローバルリーダー育成の方策について考えを広げる場とします。

E：世界へ発信「北海道産エンターテイメント」

鈴木亜由美さん（クリエイティブオフィス CUE）

「地域に根ざした北海道からのエンターテイメントの発信」を目標に掲げ、様々な北海道発の商品を生み出し、地域活性化につなげている「オフィス CUE」。あの大泉洋さんも所属している芸能プロダクションです。社長である鈴木さんにそれらの取組についてお話してもらいます。

〇共生とESD

F：「北海道における野生動物の駆除と共生」（参加費300円）

金子正美さん（酪農学園大学）

地理情報システム（GIS）を用いた適切な野生動物管理を提唱している金子教授から大学での取組を始めとした様々な活動事例を紹介していただき、野生動物との共生の在り方について考えを深めます。（鹿角細工体験有）

G：ポスト「ESDの10年」に向けて～この場から望ましい未来づくり～

小泉雅弘さん（NPO法人さっぽろ自由学校「遊」）

2005年に日本の提唱によってスタートした「国連・ESD（持続可能な開発のための教育）の10年」は今年最終年を迎え、10～11月には岡山、名古屋でユネスコ主催の世界会議が開催されます。ESDのこれまでを振り返りながら、サステナブルでフェアな社会を各々の地域からつくりだしていくにはどうしたらよいか、一緒に考えます。

H：「北海道のインバウンド観光を通して見る異文化共生」

石川めぐみさん（藍天旅遊社）

年々海外、特にアジアからの観光客の数が増加している北海道。その中で中国及び中国語圏の方々をターゲットにオーダーメイドの北海道旅行を提供し、北海道の様々な魅力を伝えている石川さんにそれらの取り組みについてお話していただき、そこから外国人との共生について考えます。

I：「車いすでつなぐ想い・未来・笑顔～誰でもできる国際貢献の事例として～」

樋口歩さん（「飛んでけ！車椅子」の会）

「飛んでけ！車いす」の会は、日本で使われなくなった車いすを集め、心をこめて整備をし、旅行者の手荷物として主に発展途上国の障がい児・者に届けるという活動をしている札幌にある認定NPO法人です。「手から手へ、顔の見える国際交流」をモットーに1998年の発足以来2200台以上の車いすを世界各地に届けています。企業とも、企業の通常の業務の中に協働を組み込むことで、息の長い協力を得るなど、そのユニークな活動内容についてお話いただきます。

J: 「エコビレッジに学ぶ持続可能な地域づくり」

坂本純科さん (NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト)

田舎での自給的な暮らし、エコビレッジを語る上でよく聞く観点ですが、エコビレッジの魅力はそれだけではありません。世代を超えた人が繋がることで文化的な交流が起き、新たな気づきが得られます。このような魅力を坂本さんにお話していただきます。

11. 地域理解研修 (①～③) ※行先以外の詳細は変更になる可能性があります

全コース参加費：4000 円 ※参加費は、当日お支払ください。

全コース屋外での見学となりますので暖かい服装をご用意ください。

①札幌市中央卸売市場場外市場見学と大倉山ジャンプ競技場リフト乗車体験

北海道の台所「札幌市中央卸売市場」のお隣にある「場外市場」で新鮮な海の幸の昼食をいただいた後、1972 年の札幌オリンピックでも使用された大倉山ジャンプ競技場へ向かい、リフトにて標高 307m にあるスタート地点からの大パノラマとジャンプスタート地点の急こう配を体感します。

11:30 ミリオナー→昼食(場外市場、毛ガニいくら丼)→大倉山→15:30 札幌駅

②北海道の歴史に出会う旅～北海道開拓の村～

北海道開基百年を記念して開設された「北海道開拓の村」は、北海道開拓時代の産業や生活、文化を伝える歴史的建造物を全道各地から移築・復元し保存している野外博物館です。今回は、ボランティアガイドの方に村内を解説していただきながら、100 年以上前の北海道にいる気分を味わいます。

11:30 ミリオナー→開拓の村(昼食、ガイドツアー)→14:45JR 新札幌駅→15:30JR 札幌駅

③小樽運河(昼食)とニッカウイスキー余市蒸溜所見学

平成 26 年度後期の NHK の連続テレビ小説「マッサン」の舞台として注目の「ニッカウイスキー余市蒸溜所」を訪ねます。今では世界中でここだけという「石炭直火蒸溜」という創業当時の伝統を守っている蒸溜所を見学し、ウイスキーづくりの理想郷を求め北海道に渡った竹鶴政孝の足跡を追います。

11:30 ミリオナー→12:45 昼食(いくらサーモン丼)→15:00 ニッカウイスキー余市蒸溜所見学→16:45 小樽駅→17:30 札幌駅

12. 有料託児について

事前に申込が必要となります。締切：10 日 20 日(月)まで

※希望される方は払込取扱票の備考欄にその旨をお書きください。それを受領後、個別に連絡させていただきます。申込内容を確認させていただきます。

※キャンセルは 11/15(土)まで可能です。それ以降はキャンセル代をいただきます。

実施日時：① 11 月 22 日(土) 13:00-19:00、②11 月 23 日(日) 8:30-11:30

実施場所：定山溪万世閣 ホテルミリオナー内

対象年齢：料金：シッターお一人につき¥2,500/h

※シッター1人につき、乳児～1人、3歳まで～2人、3歳以上～3人まで対応可能。

委託会社：NPO 法人子育て支援ワーカーズ プチトマト(北海道札幌市)

申込内容：①氏名、人数、年齢(乳児の場合は月齢まで)・性別

②預かり日時の詳細 ③連絡先(携帯電話及び E-mail アドレス)

④注意点(アレルギーなど)

☆持ち物等については申込み頂いた方に個別にご連絡いたします。

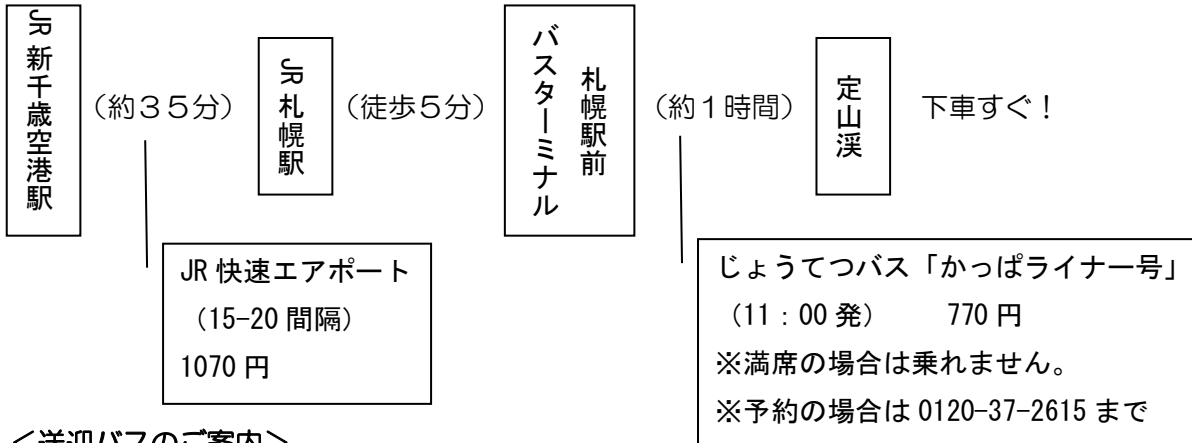
会場へのアクセス

定山溪万世閣ホテルミリオーネ 〒061-2302 北海道札幌市南区定山溪温泉東3
TEL : 011-598-3500 <http://www.milione.jp/>

<車>

新千歳空港より約 60km (新千歳空港 IC から北広島 IC 経由で約 1 時間 20 分)
札幌駅より約 30km (約 1 時間)

<公共交通機関>



<送迎バスのご案内>

※ご利用にはご予約 (事前入金) が必要です。

以下の①~⑤より選択し、振込用紙にご記入ください。(往復ご利用の際は、2つ選択してください。)

<料金>

- ・新千歳空港⇔会場 片道 2,500 円/往復 5,000 円
- ・札幌駅⇔会場 片道 1,500 円/往復 3,000 円

<乗車時刻>

11/22(土) 往路: 新千歳空港発⇒会場 ①10:30 ②11:00

札幌駅発⇒会場 ③11:00

11/23(日) 復路: 会場発⇒新千歳空港 ④12:00

会場⇒札幌駅 ⑤12:00

空港発 送迎バス集合場所: 新千歳空港 1 階到着ロビー中央「朝市食堂」前

札幌駅発 送迎バス集合場所: JR 札幌駅北口「鐘の広場」

